

農地強奪、断じて許さない!

敷地内農家先頭に、12・16現地闘争闘わる

日刊 勤労千葉

79.12.18

No. 302

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
〔鉄電〕二二五八・九(公衆電話)七二〇七

14年間の不屈正義の闘い 遂に『土地収用法』失効へ追いこむ

「昨日、土地収用法に基づく事業認定が遂に失効しました」主催者あいさつに立った石橋副委員長が主権者あいさつに立った。橋政次反対同盟副委員長の自信にみちみちた勝利の宣言に、会場を埋め尽くした一万六千余の大歓声と拍手がひびき渡った。「70年代をしめくり、心を新たに勝利の80年代へ進撃する」12・16三里塚現地大集会は、師走の寒風をつき破る熱気の中で成功裡にかちとられた。二期工事粉碎への攻撃的進撃が力強く開始されたのである。勤労千葉は、関川委員長先頭に百二十名の参加をもって共に闘いぬいた。

公団の居直り許さず、必ず廃港へ!

〓石橋副委員長あいさつ〓

12時半、内田行動隊長の開会宣言につづいて、石橋副委員長が主催者あいさつに立った。「14年間の闘いを通して今年ほどの喜びと悲しみの年はなかった。三里塚と勤労千葉の労農一体の勝利の闘いが『農地と鉄路』を武器に遂に堂々と実現された。その一方で、かけがえのない指導者戸村委員長を失った。遺志を継いで必ず勝利の日まで闘いぬくことをはっきりと宣言したい。」

昨日、事業認定が失効した。政府・公団は「一分を完成させているから、期限切れではない」と法を勝手にねじまげ、いいのがれているが、そんな居直りを絶対に許さない。二期工事を粉碎して必ず廃港に追いこむ。

つづいて、基調報告に立った北原事務局長は、「大きな試験をのりこえて前進した一九七九年」を、①森山「対話」路線攻撃粉碎の闘い、②勤労千葉を軸とする労農連帯の決定的前進、③事業認定失効に追いこんだ14年の不屈の前進として、総括し、故戸村委員長の遺訓を継ぎ「廃港に追い込む80年の闘い」の方針を提起した。

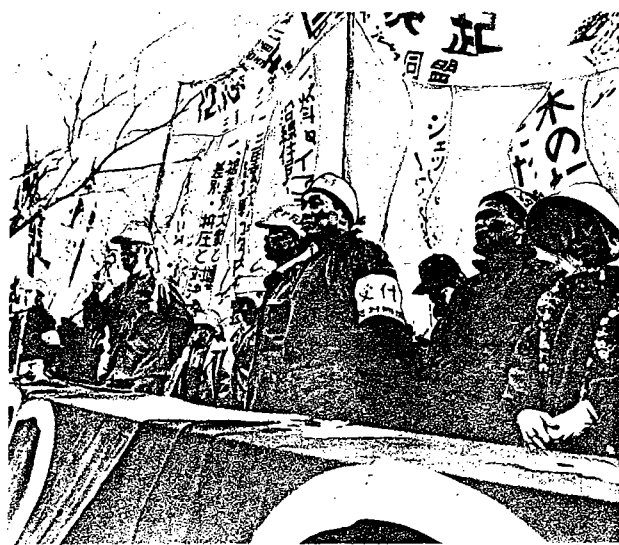
報復処分攻撃粉碎し、第三波闘争へ!

〓関川委員長決意表明〓

支援団体の最初に登壇した勤労千葉関川委員長は、「三里塚を闘う労働組合」として独立してからの八ヶ月間の闘いをふりかえり労農連帯の前進を確認し、予想される「二波のストへの報復処分攻撃」を迎えうって第三波の闘いに立つ決意を表明した。

関西実行委、北富士の闘う農民、部落解放同盟をはじめとして多くの発言が続き、柏崎原発反対同盟からの機電メッセージ等がよみ上げられた。

勢ぞろいした敷地内農家が、断乎たる決意表明



「農地を守る闘いは、自由と正義の闘い。われわれは昭和の佐倉宗吾郎だ...。」(小川源さん)

集会の最後に、割れんばかりの拍手と声援をうけて全戸同員で結集した反対同盟を代表して敷地内農家が壇上に勢ぞろい、農地死守〓二期粉碎へむけ力強い決意を表明した。

よねばあさんの魂を継いで闘う染谷さん(東峰)、田中さん(東峰)、木の根の小川直克さん、源さん、天神降の小川嘉吉さんが各々「百姓に空港は不要」「14年間まな板にのせられた百姓」が「今日をもって真向から攻める闘いに入る」と闘志満々の決意を表明。「労農同盟で廃港へ」と市東さん(天神降)。「本日の闘いは80年実力闘争の第一歩」と東峰の島村さん。「来るなら来い。来ないならこちらから攻めてやる」と小泉さん(東峰)どの顔も勝利への自信・決意がみなぎっている。天神降から石毛さん、小川さん、石橋さん、加藤さん、横堀の熱田さん、中郷の萩原さん、東峰の梅沢さん、石井さん、萩原さん、堀越さん、辺田の瓜生さん...。

14年間の闘魂からほとばしる勝利への執念と確信。おしみなない拍手がこれを包み、第一公園は寒風をふきとばす熱気につつまれた。

スローガンの採択ののち、意気けんこうと岩山大鉄塔跡まで長蛇のデモへと出発した。

12・16集会の成功をひきつぎ、12月22日にも予想される処分攻撃を迎えうち、「反合・三里塚ジェットで勝利の80年へ」と確信も高く進撃していかうではないか。